



まず相談を、ひとりで悩まないで

当相談室は男女共同参画相談室と配偶者暴力相談支援センター（DVセンター）の機能があります。全国の統計によると、DV被害者の約90%以上が女性です。女性のための支援が先行してきました。現在は男性のDV加害者プログラムや男性のDV被害者相談の必要性も検討され実施されていますが、男性の相談の場はまだ少ないのが現状です。

相談室には「妻からモラハラを受けた」などの相談が増えています。「女性は相談して情報や知識を得るのに、男性はどこに相談していいかわからない」という話も聞きます。DVに関する書籍を読んだり、オンラインで受け付けている窓口で相談することで、加害・被害の関係について学ぶことができます。

DV被害を受け緊急性のある場合、「暴力から離れること」「命の危険を感じたら警察に相談すること」「話を聞いてくれる人とつながること」には性別を問いません。

暴力は「優越性（自分の方が偉い）と支配（決定権は相手より自分にある）」が原因です。家族間、男女間でも優越性と支配が起きやすいのです。それは性差別社会が原因の一つと言われています。性差別社会を変えようとするさまざまな試みは、家庭内の暴力をなくしていくことに繋がっています。

相談者の困りごとに応じて、他機関を情報提供することがあります。その方の状況に対応した相談窓口と繋がって、暴力の無い、安心できる生活を取り戻してほしいと願っています。秋田県内のDVセンター（6か所）については「美の国あきたネット DVの相談窓口」を参考にしてください。

**相談無料 秘密厳守**



**018-836-7846**

- 相談時間 月曜～土曜日 10時～17時(休業日 日・祝日)
- 相談方法 面接(要予約) 電話 メール(HP参照)

※ ご予約のない面接希望者は、お待たせしたり後日改めての来室をお願いする場合がございますので、ご注意ください。

これからのご案内 1月～3月

**利用時間及び休館日の変更のお知らせ**

★令和5年度第2回利用者懇談会  
令和6年1月23日(火)  
13:30～アトリオン7F 研修室

★令和5年度第2回中央地域連携  
ネットワーク会議  
令和6年2月6日(火)  
13:30～アトリオン7F 研修室

☆独立行政法人国立女性教育会館所蔵  
図書100冊の展示と貸出(1月～3月)  
テーマ「海外女性事情、DV、社会、芸術、  
エッセイ」  
3か月毎に書籍は入れ替わります。

令和6年度上半期(4～9月)の研修室の予約は、3月1日より随時開始いたします。  
不明な点はセンターにお問合せ下さい。

**令和6年4月1日以降**  
センターの利用時間及び休館日に変更になります。  
【利用時間】  
平日：9時～18時 土・日：9時～17時  
【休館日】  
毎週木曜日  
祝日(但し、祝日が日曜日に当たる場合は日曜日は開館し、月曜日が休館になります)  
年末年始(12/29～1/3)  
アトリオン休館日(年2回)

利用者の皆様にはご不便をおかけしますが、ご理解とご協力の程、よろしくお願いいたします。

**年末年始 休館のお知らせ**

今年もセンターのご利用ありがとうございました。  
**12月29日(金)～令和6年1月3日(水)はお休みです。**1月4日(木)からは 通常通り開館いたしますので、どうぞご利用ください。

発行：秋田県中央男女共同参画センター 電話：018-836-7853 <http://akitawmc.com/>  
〒010-0001 秋田市中通2丁目3-8 アトリオンビル6F 指定管理団体・NPO法人いきいきFネット秋田

2023/12  
発行  
Vol.69

# ハーモニークラザだより

<http://akitawmc.com/>

令和5年度 地域の女性リーダー応援事業(中央地区) 主催/秋田県  
本事業は地域における女性の活躍を推進することを目的として開催しました。

地域の女性リーダー養成塾 五城目町(朝市ふれあい館)で開催しました!

開催報告.1

① 10/7(土) 「アウトドアで地域の防災力UP!!」

講師/及川 真一さん

(日本赤十字秋田短期大学講師) 【参加者22名】

五城目町は7月の豪雨で大きな被害に遭いました



講座の様子はYouTubeで配信しています



災害時の支援は、「がまん」と「わがまま」の精神論では進みません。ひとりひとりの特性を踏まえた支援や多様性を「認める」支援が必要です。「避難所を生活再建のために少しでも前向きになれる場所にしましょう」と話される講師の熱い使命感にふれ、防災意識が高まりました。

② 11/11(土) 「避難所ゲーム(HUG)を体験しよう!!」

講師/佐々木 美奈子

(秋田県中央男女共同参画センター長) 【参加者16名】



参加者は、3グループに分かれ避難所に避難してくる年齢・性別など様々な人々をイメージし、避難所運営を模擬体験しました。災害時の混乱した状況に現実味を感じ、皆で考えを出し合いながら、真剣に取り組みました。物事を決める場に男性も女性も入り、多様な視点から考え、話し合うことの必要性を実感した講座でした。

地域の女性リーダー応援講座 大湯村(大湯村役場)で開催しました!



講師の麓幸子さん

11/7(火) 「女性リーダーが地域を変える!」

講師/麓 幸子さん (元日経ウーマン編集長) 【参加者21名】

これからのVUCA(将来の予測が困難な状況)時代はキャリアの自律が重要だと話されました。①人生のミッションを持つ②学び続けること③自分自身を大切にすること④失敗を恐れず挑戦すること⑤他人と比較しない。自分を信じる。5つがハッピーキャリアの法則だそうです。参加した女性たちの背中を押してもらった講演でした。

地域の女性リーダー応援講座 オンライン形式で開催しました!

11/22(水) 「災害から地域を守るために

～女性の視点、多様な視点で取り組む防災・減災～」【参加者42名】

講師/宗片 恵美子さん (NPO法人イコールネット仙台)

多様な人たちの災害時の困難を知って、支え合うことが大切だと分かりました。地域防災の担い手となる女性の人材を地域で育て、その地域で活躍できるようにすることが重要と学ばせてもらいました。



講師の宗片恵美子さん

秋田県中央男女共同参画センター TAKE FREE 発行年月日 2023年12月 編集・発行 秋田県中央男女共同参画センター

秋田県中央男女共同参画センター前「千秋公園お堀」12月の風景



ステージで講演される ずぼらんたん☆ のお2人

令和5年度男女共同参画社会づくり基礎講座を10月12日、男鹿市企画政策課と共催し男鹿市民ふれあいプラザハートピアで開催しました。秋田のズボラ推進ワーママデュオずぼらんたん☆の柳瀬わかなさん、藤田ゆうみんさんにご講演いただきました。

専業主婦の多かった親世代の「男性は仕事」「女性は家庭・育児」など性別で役割を固定化していた子どもころの家庭環境を、フルタイムで共働きの現代の生活に取り入れるのは無理があったと自身の具体的なエピソードがありました。

性別で役割を決めず、家族で協力し、お互いの得意不得意などを話し合って協力することが大事。

性別役割の「思い込み」を外し、今よりもう少し楽に「ズボラ上手」に生活してみようと思える内容でした。

家庭や職場から男女共同参画をよりよいカタチで次の若い世代に伝えていくことで地域はもっと暮らしやすくなりますと講演を締めくくりました。



参加の皆さんからの相談に答えてもらいました。

◆「子どものお弁当に冷凍食品は手抜きなのでしょうか」→仕事での忙しい日々の中、お弁当を詰めただけで素晴らしいこと。事前に作って冷凍しておく方法もあります。お父さんが作ってもよいのではないでしょか。

◆「男性は食事は出てくるものと思っています」→自分で自分のことができないと、今後本人が困ることになる場合もあります。

日常生活の中で当たり前になってしまっている男女の役割を改めて見つめ直す機会になりました。

「ハーモニーネット Week 2023」が、「安心して暮らせる地域社会をめざして」というテーマで、開催されました。

コロナ禍のため、昨年までは縮小し制限をして行なったふれあいマーケットも久々にアトリオン地下のイベント広場で開催され、来場者や他団体が交流を深めました。

6Fのオープンスペースでは、アート作品や登録団体の活動紹介パネルなどが展示され、その他にもそれぞれ趣向を凝らしたワークショップが行われました。イベントは一週間開催されましたが、団体の日頃の活動内容や成果を多くの人に知ってもらいよい機会になりました。

開催報告3

ハーモニーネット Week2023  
10月14日(土)~10月22日(日)



ふれあいマーケット



登録団体活動紹介  
パネル展示



パープルレボ  
リューション  
キャンペーン

アート  
作品展

アート作品 作家:岩瀬 海さん



SRS#01

SR-M

私はこれまでジェンダーやセクシュアリティをテーマに、彫刻作品の制作を行ってきました。近年は特にトランスジェンダーの当事者が直面する問題に注目し制作を行っています。

今回、ハーモニープラザさんにて展示させていただいた作品は、SRS#01(2022年制作)とSR-M(2021年制作)という2つの彫刻作品からなるインスタレーションです。

SRS#01はSRSシリーズという連作からなる作品です。SRSとは性別適合手術(Sex Reassignment Surgery)の略称として用いられます。

木、生皮、人毛、石膏、虫ピンを素材に、陰茎のようにも胎児のようにも見える造形が手のひら大の生皮によって閉じ込められています。半透明に透ける生皮は4つ角を虫ピンで止められる様子は、何かの標本のようにも見えます。

本作は、日本で戸籍の性別を変えるための法律「性同一性障害者の性別の取扱いの特例に関する法律」の中で設定された条件のうち「四 生殖腺がないこと又は生殖腺の機能を永続的に欠く状態にあること」「五 その身体について他の性別に係る身体の性器に係る

部分に近似する外観を備えていること」という二つの条件に対して、問題提起として制作した作品です。

私たちは何をもってして、女性や男性を定義付けてきたのかを問う作品です。SR-Mは公園にある遊具スプリングライダー(Spring rider)と信心深い自身の母を身体モデルにしながら、他者との分かり合えなさやその関係性の複雑さを自身の幼少期の思い出からユーモアのある形として表現した作品です。

ジェンダーやセクシュアリティなど、普段から関心を持っている人たちが集まる場であるハーモニープラザさんでの展示にとっても意義を感じました。いつも作品を見に来てくれる層とは異なる方々に作品を見ていただき感想を聞いたことは今後制作を続けていく糧になります。作品の話をしながら私たちの身近にある様々な問題について語っていきける場を増やしていきたいです。本当に貴重な機会をありがとうございました!

ワークショップ



講演「あきた舞妓」の  
地域貢献



講演「防災」について



トランスジェンダーと  
話してみませんか?



秋田弁の昔っこ



笑学校

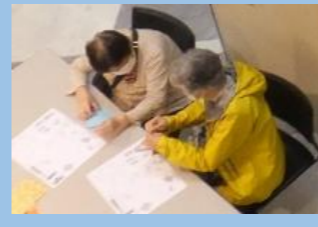
- 参加者の声
- ・久々ににぎやかで良かった。
  - ・他団体の方々との交流があり楽しかった。
  - ・雨のせいお客さんが少なくて残念だった。
  - ・一人ひとりの今までの経験等、リアルにお話を聞けてとても参考になった。
  - ・パネル展では各団体が制作したもので分かり易く、改めて理解したものもあった。



千秋公園を歩こう



おはなしとどけ!



折り紙体験コーナー

